

江差町議会だより

■発行・北海道江差町議会
■編集・議会広報特別委員会
〒043-8560
北海道檜山郡江差町字中歌町193番地の1
☎[0139] 52-6713 (直通)



読書の秋です

月2回行われる図書館での絵本サークルポポリンによる絵本読み聞かせ会。子どもたちは、真剣な表情で聞いていました。

町教育委員会では小さい時から本に親しんでもらうために、7ヵ月児相談の際にブックスタート事業（読み聞かせや絵本の配布等）を行っています。

平成24年度決算を認定

予算補正は豪雨に係る災害復旧事業費など

平成25年 9月議会

—もくじ—

- ◇9月定例会のあらまし・・・・・・・・・・ 2～5 P
- ◇平成24年度決算審査・・・・・・・・・・ 6～9 P
- ◇一般質問、委員会情報・・・・・・・・・・ 10～14 P
- ◇全員協議会・・・・・・・・・・ 15 P
- ◇議会の動き、議員会協賛事業について・・・・・・・・ 16 P

平成25年9月定例会が9月10日から12日に開会。平成24年度決算認定をはじめ、平成25年度補正予算など提案された議案を審議し、原案どおり可決しました。

また、4人の議員が一般質問を行い、町政に問いかけました。

集中豪雨による災害復旧費

補正予算を承認・可決



小黒部地区の被災現場
(上) 道路が冠水し、通行が遮断されて
いる。
(右) 小黒部川。橋の底面まで川水が溜
まっている。

9月定例会では8月18日、23日に発生した集中豪雨に関する補正予算が提案されました。

決算については、決算審査特別委員会を設けて集中審査。その結果、すべての議案を全会一致で原案のとおり可決しました。

《災害関連の補正内容》

● 8月18日豪雨

〈専決承認〉

- ◇ 道路橋りょう災害復旧対策
(町道船越ダム通り他)

142万円

- ◇ 河川災害復旧対策
(小黒部川他)

115万円

〈補正可決〉

- ◇ 道路橋りょう災害復旧対策
(町道元山環状線他) 285万円
- ◇ 下小黒部ダム連絡道路災害復旧対策 170万円
- ◇ かもめ島公園遊歩道災害復旧対策 177万5千円
- ◇ 道路橋りょう災害復旧対策
(町道馬場山線災害復旧に係る測量調査設計委託) 58万8千円
- ◇ 河川災害復旧対策(普通河川小黒部川護岸災害復旧)

50万円

● 8月23日豪雨

〈専決承認〉

- ◇ 町有地法面崩落応急対策
(陣屋町民家裏) 87万6千円
- ◇ 道路橋りょう災害復旧対策
(町道小黒部船越通り)

50万円

※災害補正合計

1,135万9千円
(地方債190万円、他一般財源)

《その他の補正内容》

一般会計

〈専決承認〉

◆行旅死亡人取扱 23万円
(全額道支出金)

〈補正可決〉

◆役場庁舎給水設備及び冷暖房設備改修 214万2千円
(全額一般財源)

給水ポンプの制御盤及び2階3階の一部の冷暖房設備の修繕。

◆過年度還付 205万2千円
(全額一般財源)

法人町民税還付金及び障害者自立支援給付費負担金の還付。

◆地域ケア会議活用推進事業 101万円
(道支出金100万円他)

地域包括支援センターの機能強化のため、行政、介護サービス事業者等で構成された会議を構築、困難事例解決等につなげる。

◆藻場・干潟等保全活動支援 24万円
(全額道支出金)

藻場の保全活動に係る事務費。

◆町道除雪対策 2,726万3千円
(全額一般財源)

(全額一般財源)

◆歴まち景観形成補助 163万4千円
(全額一般財源)

ふるさと江差の町並み景観形成地区条例に基づく申請1件の補助。

◆檜山広域行政組合負担金(退職手当組合負担金清算納付) 1,157万円

消防職員の退職手当金の清算による納付金。

◆江差小学校屋内体育館サッシ改修工事 197万8千円
(全額一般財源)

経年劣化によるサッシの窓枠の補修。

◆上田沢橋架換工事受託 207万6千円
(全額道受託事業収入)

公共工事設計労務単価の改正による算定額に変更が生じたもの。

国民健康保険費特別会計

特別会計

◆前期高齢者納付金 5万円
(全額一般財源)

概算納付金の確定によるもの。

◆生活習慣病予防対策事業 152万8千円
(国庫支出金他)

生活習慣病の一次予防に重点を置いた保健指導、フィットネス教室等を通して予防の正しい知識の普及を行う事業。

介護保険特別会計

(保険事業勘定)

◆平成24年度地域支援事業交付金返還 128万5千円
(全額一般財源)

年度終了後の精算事務によるもの。

委員会の事務調査

◆総務産業常任委員会

「町有財産管理と有効利用策に関する事務調査」を今定例会で発議しました。

◆社会文教常任委員会

6月定例会で発議した次の事務調査を継続調査しています。
「学校整備に関する事務調査」
※10ページで調査状況をお知らせしています。
「地域医療の充実・確保に関する事務調査」



9月11日上田沢橋を現地視察する議員



9月定例会のようす

〈決算関連〉

〈平成24年度決算を認定〉

平成24年度の一般会計ほか8つの会計に関する執行状況は、本会議を休会し、議長及び議会選出の監査委員を除く議員で構成される決算審査特別委員会において、集中審議を行いました。委員会終了後の本会議における採決では、全会一致で全会計が認定されました。関連記事は6ページ以降に掲載しています。

〈町の財政を診断・基準値以下で健全化〉

決算に基づく財政の「健全化判断比率」と「資金不足比率」の報告がありました。この比率は監査委員の審査を受けた上で議会に報告されます。平成24年度決算の「健全化判断比率」の状況は次の表のとおりですが、いずれも基準を下回っています。

◇財政健全化法に基づく「健全化判断比率」

比率名	比率の内容	24年度	早期健全化基準
実質赤字比率	一般会計の赤字の割合	赤字なし	15.0
連結実質赤字比率	特別会計を含む全会計の赤字の割合	赤字なし	20.0
実質公債費比率	年間の借金返済額の割合	16.8	25.0
将来負担比率	将来負担が見込まれる負債などから貯金（基金）などを控除した額の割合	103.4	350.0

〈条例改正〉

◇条例の一部改正

◇国民健康保険税条例の一部改正
いずれも公社債、株式等に対する課税の見直し等に
伴う改正

◇半島振興地域企業立地促進のための固定資産税の不均一課税に関する条例の一部改正
町内での投資について申請により所得税等の割増償却が可能になり対象業種が製造業のほかに旅館業が追加されました。

〈工事請負契約の一部変更〉

〈専決承認〉

契約名 江差小学校屋内体育館耐震改修工事
契約額 5,070万4千5百円
契約相手 株式会社 前田組

〈人事案件〉

任期満了による人事案件について、次のとおり推薦・同意しました。

◇人権擁護委員候補者の推薦

川端 壮吉氏
(橋本町・73歳)



◇教育委員の任命

中野 志帆氏
(田沢町・41歳)



〈和解の報告〉

和解及び損害賠償額の決定について、次のとおり3件の専決処分について報告がありました。

(1) 今年2月、町所有のシヨベルローダーが除雪作業中、たい積した雪を押し際に、雪に埋もれていた柵に接触、破損させた件について、費用20万2,650円を町が加入する自動車損害共済にて補修することで和解しました。

(2) 今年3月、町所有のシヨベルローダーが除雪作業中、たい積した雪を押し際に、雪に埋もれていた花壇に接触、破損させた件について、費用17万3,250円を町が加入する自動車損害共済にて補修することで和解しました。

(3) 今年6月、道営住宅檜山団地と道職員寮の間にある町道で、町が業務委託している江差町高齢者事業団が空き缶回収作業中、町が管理している車両を移動した際に、町道に駐車していた軽自動車に接触、運転席側ヘッドライト周辺を破損させた件について、費用12万1,853円を町が加入する自動車損害共済にて補修することで和解しました。

これら3件の和解報告に対し、議員からは報告の時機や除雪作業の体制等について質疑がありました。

〈行政報告〉

◆集中豪雨等による災害状況について

8月18日及び23日の集中豪雨に伴う被害状況を報告。

18日は、愛宕町の国道法面崩落、朝日町での床下浸水1件。小黒部地区の断水等、また23日は、陣屋町住宅1棟の壁に土砂の流出があった。

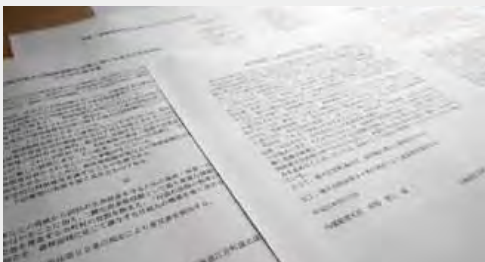
◆道南圏域における「定住自立圏構想」について
函館市の中心市宣言の動きにあわせ、現状を報告。

◆寄附採納について
2件の寄附採納がありました。

・公益財団法人日本公衆電話会様より「こども手帳」250冊。
・江差信用金庫様より「厚沢部産道南杉木製ベンチ一脚」
※詳細は10月号広報6ページに掲載されています。

意見書を提出しました

9月定例会では9件の意見書を発議。そのうち6件の意見書を可決、同日付で関係行政機関へ提出しました。



- ◇「森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保」のための意見書
- ◇鳥獣・海獣被害防止対策の充実を求める意見書
- ◇若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書
- ◇大規模地震等災害対策の促進を求める意見書
- ◇地方財政の拡充に関する意見書
- ◇道州制導入に断固反対する意見書

まちの家計簿

慎重に審査

決算審査特別委員会（室井正行委員長）は、9月10日から12日で委員会を開催し、平成24年度各会計の歳入歳出全般に係る執行状況を集中審議しました。

総額 78 億 8,219 万円を認定



会計名		歳入	歳出
一	一般会計	54 億 4,018 万円	50 億 9,167 万円
特別会計	国民健康保険費	10 億 9,572 万円	10 億 4,695 万円
	後期高齢者医療	1 億 338 万円	1 億 296 万円
	介護保険	9 億 3,259 万円	9 億 1,901 万円
	公共下水道事業	2 億 5,999 万円	2 億 5,631 万円
	公設地方卸売市場事業	86 万円	76 万円
	港湾整備事業	259 万円	244 万円
	奨学金	696 万円	696 万円
	水道事業会計	4 億 613 万円	4 億 5,513 万円
	合計	82 億 4,840 万円	78 億 8,219 万円

委員長報告

各課担当職員から予算の執行状況や実施事業に関する質疑を終えた後、委員会として24年度決算を「認定」すべきとしました。

本会議での委員長報告の概要は次のとおりです。

◇確実に財政健全化

実質公債費比率が16%台に回復し、将来負担比率についても大幅に縮減されている。危機的にあつた財政が健全化に向けて確実に取り進められている。

◇事業獲得の努力を評価

財政構造の硬直化が進むなかで、国、道等財源を効果的に活用し、積極的な行財政運営が見受けられる。

一方、一般会計、国民健康保険費特別会計、介護保険特別会計などで財源の収入未済額が高額となっている。債権管理と収納について一層の努力を要する。

◇財産管理対応等の推進を

主要施策のひとつ、「住民が安心して暮らせる生活環境づくり」について、町営住宅等の管理と防災に絞る現地調査を行った。調査した公営住宅は老朽化が一層深刻化している実態にあつた。これら財産の予防保全の方策等について「町公営住宅長寿命化計画」の積極的な推進を進められた。

◇水道事業会計

事業経営を取り巻く環境が引き続き厳しい状況にあり、的確な財政計画を持ちながら運営を行う必要がある。

◇まとめ

町が2035年には、人口4,590人と推計されているが、その推計を覆す強い思いを行政と議会が積極的に連携し、建設的な協調性を図らなければならない。

創意と工夫により夢と希望をもてる町づくりのため、町議会・住民と共に一丸となった取り組みについて強く望む。

委員会質疑



接遇対応研修のようす

基金

Q 基金積立について。予定どおりなのか。
A 財政調整基金は予定どおり積立（達成）している。

研修

Q 接遇対応研修の参加者及び内容について。繰り返し研修する必要があるのでは。
A 参加者は13名。内容は電話対応や挨拶の仕方等について、外部講師を呼んでやっている。参加者は新採用職員のほか、前年に参加していない職員を対象としている。繰り返し研修する必要があるについては、検討していききたい。

協働のまちづくり

Q 協働のまちづくり補助金の不用額について。
A 周知は行っているが事業の本数が少なかったことによるもの。

農産品加工販売

Q 食クラスター、農産品加工販売事業の費用対効果、見通しについて。
A 継続させていくためにどうすべきかを詰めていきたい。費用対効果はまだ2年目で育成にかけたお金というおさえでいる。儲かる商品を作るのは難しい取り組み状況。

税

Q 税の滞納者（上位者）はどのような階層、仕事なのか。
A それなりの収入等がある事業者が何人かいる。

Q 滞納整理機構に回す基準等はあるのか。上位者は特にそうすべきでは。
A 滞納整理機構に回し

ているのは全部で13件。滞納上位者の中にも1〜2件該当している。

国民健康保険

Q 国保の短期保険証、資格証明書はそれぞれ何人か。ここ何年間かでのように分析しているか。滞納との側面からみてどのような状況か。
A 短期証は107世帯、資格証は14世帯。ここ1〜2年は横ばい状態。それ以前からは増えている。効果はないという判断はしていない。根気よく滞納については税務課と一緒に努力していかねばならない。

除雪サービス

Q 除雪サービスについて、身内等がいるがこのサービスを受けている人はどのくらいいるか。担当課でもっと使いたい等の要望はあるのか。
A 仕事の関係で朝出来ないなどの事情があり身内がいてもサービスを受

けている人は何人かいる。町内会では受けたくても受けられない状況がある。今後、件数が増える対応できない状況も考えられるため、今後検討していかなければならない。

ひのき荘

Q 正職員と臨時職員の内訳は。
A 正職員は9人、臨時職員は17人。

Q 平均的な入所利用料は。入所者数は定員を割っているか。
A 入所者の徴収金は収入によるため150万円以下だと38階層に分かれている。大体平均すると3万円前後の入所者が多い。定員80人のところ66人が入所している。

特定健診

Q 特定健診の医療機関側からの情報提供の件数について。宣伝が弱いのでは。
A 提供の件数は15件。

第1期の反省点として地区を訪問したり電話勧奨等行ったが全地区を対象にしていたため効果が上がらなかつた。第2期では重点地区を設け、5年間で回る取り組みを実施する。

子宮頸がん予防接種

Q 子宮頸がんの予防接種事故等があるのか、問い合わせにどう対応しているか。
A 25年4月1日から定期化になった。副作用により6月中旬から国は積極的勧奨をしないことになり、町でも同様の対応を取っている。事故の届け出はない。



厚生労働省のリーフレット

委員会質疑

住宅

Q 住宅料の滞納者について生活保護になった場合の対応は。所得があるのに支払っていない者に対し、保証人等に連絡しているのか。文書ではなく直接会って対応すべき。

A 生活保護でも一部その中で相談し分納等対応している。滞納者とは連絡や相談等対応しきれなかった部分がある。昨年度は保証人等に連絡はしていない。滞納強化は内部で検討している。

Q 環境住宅課所管の建物について年次計画を立て修繕しているのか。台帳等の整備は。

A 作業員が見回りしたり、居住者からの連絡により修繕等を随時行っている。管理計画等は作成していない。今後、点検等実施しながら対応していきたい。台帳についても現在作っていないため、今後整理しながら管理し

ていきたい。

追分全国大会

Q 民泊の実施状況は。

A 延で100人が宿泊している。法律の壁があり行政が介入するのはなかなか難しいと認識している。行政を通さずに実施している家庭もあり、進んでいるという認識はある。旅館業法で制約があり難しい状況もある。

工事

Q 道路工事等について、工事契約、実施時期が遅くなることについて。

A 道路に関しては、1年間の中で随時住民から要望あれば修繕する状況から、時期は固定していない。工事の内容等によっては、職員が積算し設計することから思うように進まない状況もある。大きい工事については、計画的に実施している。

教職員住宅

Q 入居状況について。

A 49戸あるうち33戸に入居している。空き室は児童生徒数が減少している状況から教職員数も減少していることや持ち家のある教職員も増えている。

学校図書

Q 財政措置について。

A 24年度から5カ年で蔵書を標準整備する措置。小学校では約5千冊、中学校では5千4百から6千7百程度の蔵書整備が必要となる。今後、その方針を立てていかなければならない。

学校給食費

Q 給食費の回収について。

A 学校の事務や北部ではPTAの方が回収を行っている。未納者には給食組合長と教育長と学校長の連名で催告し、回収に努めている。

決算審査特別委員会 現地調査を行いました！

委員会では、技能開発センターや公営住宅、災害現場等を視察しました。

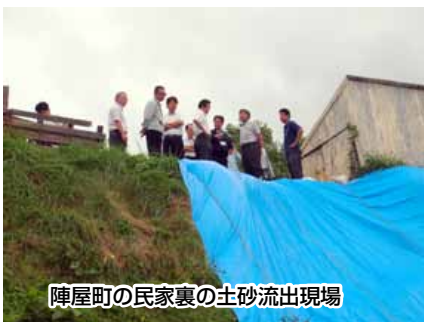
豪雨災害等の災害対策は委員会の中で多く質疑が交わされました。決算に関連して今夏の豪雨災害被災箇所の確認も行いました。



町民の森へ続く道路の路肩が滑落



柏町の技能開発センター。文化財関係の備品が数多く保管されている。



陣屋町の民家裏の土砂流出現場



愛宕町法面崩落箇所

町長・教育長総括質疑

決算審査特別委員会の審議は、各課の担当者への質疑のほかに、町の基本的な考え方の確認や大きな課題に関して、町政全般は町長へ、教育行政に関しては教育長へ質疑を行いました。



《町長総括質疑》

◆課の配置状況について

(町長) 基本は職員の適材適所、適材適数を配置していると認識している。職員を増員する考え方は今のところない。

◆公共用財産の管理について

(町長) 今年予算編成前に、財産を全部洗い出すよう指示。

決算審査特別委員会

直さなければならぬ箇所が16箇所出てきた。そのうち7から8割程予算化している。

また、台帳整理は建物のほかに土地もあるため出来るだけ早めに整理するよう指示している。

《町長・教育長総括質疑》

◆物品購入(消耗品等)について

(町外業者からの購入)

(町長) 購入について、理由はあるのだから課長会議でも整理させてもらいたい。

(教育長) 校長及び教頭会議

において徹底するよう話しはしてきている。学校が特定され、まだこのような実態があることについて大変申し訳なく思っている。今後の購入についてはさらに徹底した指導を行っていききたい。

《教育長総括質疑》

◆開陽丸引き揚げ遺産(文化財)の収蔵と保存の考え方

(教育長) 生涯学習センターが

閉鎖した時点で、そこに保管していたものや、開陽丸のリニューアルの際にも保存できないものを技能開発センターに移して保管している。このまま、技能開発センターにて保存をしていきたいと考えている。

また、開陽丸の船体の一部も海中で銅網をかけて保存している。保存状況は2年前の調査では成果は上がっている報告を受けている。

◆学校図書館の蔵書整備の考え方について

(教育長)

24年度から各学校の予算は増額している状況にある。今後も財政協議しながら蔵書を増やし、学校整備について考えていく。

平成24年度決算に対する監査委員からの審査意見



「監査委員」は、町の財務に関する事務の執行や経営に係る事業の管理などが、法令等に従って適正に行われているかどうか、効率的効果的かどうかという観点から、議会とは別組織として各種監査や審査等を行う機関です。

議会に対し、平成24年度各会計決算は適正としながらも、何点か意見が付されました。その中で水道事業会計についての意見を要約し掲載します。

(写真) 担当職員から聞き取りをする川端成吾代表監査委員(左から2人目)と議会選出の小笠原満監査委員(左)

次年度以降の経営について、本年度同額程度の純損失が見込まれる状況にあり、累積欠損額は引き続き増額していくものと推察される。

料金改定による効果も人口の減少や節水思想の普及、経済の停滞等により水需要の増加は期待できず、費用面では多額にわたる償還金、老朽施設の補修等に要する経費が見込まれる等、事業経営を取り巻く環境は厳しい。

今後の経営にあたって、更なるコストの削減を図りつつ、資金面の厳しい現実を直視し、町との連携を十分に図り、早期に中・長期の財政計画を策定し、真に町民の信頼に応えられるよう簡素で効率的な事業運営を強く望むものである。

また、水道料金の未収金取納にあたっては、受益者負担の公平性を期する上からも、滞納者の分析をした上で、滞納整理の改善に取り組み取納率の向上に一層努められたい。

社会文教常任委員会『学校整備に関する事務調査』

社会文教常任委員会（委員長 大門 和子）は、平成 25 年第 2 回定例会で「学校整備に関する事務調査」を立ち上げ、小・中学校の視察を実施しました。その視察の内容をお知らせします。

8 月 2 日、江差北小学校、南が丘小学校及び江差小学校を、9 月 19 日に江差北中学校、江差中学校を訪問しました。

各学校の校長先生や教頭先生から学校の現状や運営方針などを聞き、質疑応答を行い、その後、学校内を調査しました。

学校ごとに課題が違い、実際に学校を見て現場の声を聞くことで、事務調査を進める上で貴重な視察となりました。



北小学校の特別教室。北小学校では空き教室がすべて特別支援学級にあてられている。



南が丘小学校の図書室。すべての小中学校で蔵書が古く、蔵書数が少ないことも確認。



江差小学校では空き教室を有効に活用。体育館耐震改修工事現場も確認。



江差中学校の校長室でのようす。改築工事に伴う授業の実態や学校が抱える問題等を確認、質疑応答を行う。



北中学校の体育館。改築から年数が経過（約 23 年）し、補修箇所が目立つ状況に。

四議員が一般質問を問う

議員にとって「一般質問」は、議場という公の場で、町長や教育長に対して町政運営の考え方や将来に対する方針を質すことができる唯一の場です。

◆質疑は要約されています◆

議会だよりのスペースの都合上、質問・答弁は要約したものを載せています。

◆表示の説明◆

文中の再、再再はそれぞれ再質問、再再質問を表します。

「地域医療再生計画について」

町長 より良い医療環境の構築に取り組む
小林 栄治 議員（日本共産党）

南檜山地域遠隔医療情報通信機器等整備事業は25年度で終了するが、地域医療連携の課題は、重要な取り組みであり継続・発展させていかなければならない。今後の町の関わりは。

町長 総合医の養成や分娩再開に向けた産婦人科医の養成、また医療連携の確立としてITネットワークの整備に取り組んできた。道立江差病院が地域センター病院として機能していく上で、ITネットワーク整備事業は重要。医療診療において検査・投薬等の重複を防ぐ効果、診療内容が共有出来る事で住民の身体的負担や医療費の負担軽減などのメリットは大きい。

事業は終了するが、三次医療圏との連携も検討するために新たな協議会を南檜山地域に設置すると聞いている。その協議

南檜山地域医療連携システム（ITネットワーク）とは…
医療機関をインターネット回線で接続し、患者の医療情報を共有するシステム。南檜山の5病院、6診療所が導入しています。
医療情報を共有することで、重複した検査や薬の処方を防ぎ、一貫した安全で効率の良い医療を受けることができます。また、病院に緊急搬送された際、過去の治療状況等も参考に速やかに適切な医療を開始することができます。

会に参加しながらより良い医療環境が構築出来るよう取り組んでいく。

再 総合医の養成確保について、進捗状況は。養成の課題と地域への派遣状況は。

健康推進課長 22年度からこれまで39名の医師が受講し、23名が研修を終える見込み。残念ながら道立江差病院には研修希望する学生がいなかった。

再 三次医療圏との連携について。地域医療の充実や町と管内医療機関との細やかな意見交換、情報収集など医療と行政の連携も必要ではないか。

健康推進課長 今年度中に再生計画の中で接続する予定。町として今後の稼働方法、システムの運営に対して関係各町と、また関係医療機関とも連携しながら、検討していく。

「町営住宅の高齢化対策について」

利用者サイドに立った細心の維持管理が求められているが、管理者としての考え方は。

町長 高齢者対策用住宅は全27戸。他の住宅は特に対策は講じていない。介護認定を受けている住民は制度を利用して、小規模住宅解消を活用している実態がある。高齢者や身体不自由者に対しては、高齢者住宅が空いた時点で住み替えを進めながら、入居者の要望に

沿って出来る範囲で維持管理に努めたい。

再 入居者の情報集約（転倒やけが等について）はどうしているか。

環境住宅課長 今年の冬に1件転倒した情報があり、住み替えを行った。現在その1件の把握のみ。福祉からの情報等、収集に努めている。

再 町営住宅の内面（ユニバーサルデザイン（※）や住みやすさ）に配慮できないか。

環境住宅課長 限られた住環境の中でどう維持管理に努めていくかを配慮し、検討していきたい。



決算審査特別委員会で視察した円山の町営住宅。勾配の急な上り坂になっている。

◇言葉の説明

ユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインとは、「すべての人のためのデザイン」を意味し、年齢や障がいの有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人が利用可能であるようにデザインすることをいいます。

「JR江差線廃止、新幹線延伸に伴う対応について」

町長 しっかりと準備を行って行く

横山 敬三 議員（無党派）

江差木古内間の廃止と新幹線開業が迫っている。町は近隣町、振興局、運輸機関、商工会等民間と共同でスピーディーに対応すべきではないか。

町長 江差線廃止に伴い、鉄道ファン等多くの人が訪れているため、各種ソフト事業を展開している。

また、「新幹線木古内駅活用推進協議会」に参加しながら各町と連携し、二次交通対策や新たな観光商品の開発に努めている。

7月には、檜山振興局を中心に「檜山の新幹線観光を考える会」が発足、今後各種事業を展開する予定。これらの取り組みを踏まえ、しっかりと準備を行っていく。

再 地域再生プロジェクト以外はどのような計画があるのか。

追分商工観光課長 「檜山



建設中の新函館駅（仮称）（上）と木古内駅（右）

の新幹線観光を考える会」や月1回程度開催している「来てネット」で町民から新幹線開業に向けて意見を頂いている。

全て総合しながら、誘客に努めていきたい。

再 具体的な今後のスケジュール、予算化、項目の列挙、打ち合わせなどの準備が進んでいるのか。時間が短いなかでスピーディーに、庁内に

プロジェクトチームを組んで対応すべきと思うが。

追分商工観光課長 庁内では「市街地活性化推進委員会」を開催している。

江差に観光客をいかに誘導するか、新幹線開業に取り組んでいる。

予算は町単独7百万円で事業を行っている。事業は歩み出している。

「全国小中学生学力テストについて」

全国的に北海道は低い。基礎学力の向上に向けて教育委員会、学校での対応は。

教育長 北海道の結果は全国平均を下回っており、江差町も全道の傾向と同様の結果となっている。

町教育委員会では結果の分析を踏まえて指導するなどの対策を講じている。また、江差町基礎学力向上対策会議を設置し、各学校の取り組みについて意見交換し、夏・冬休みの補修授業や振り返りテスト等に加え家庭に対する学習の手引きを作るなど、各学校独自の取り組みを支援している。

「中学校研修旅行に対する情報提供について」

函館・渡島管内の中学校が研修旅行に来た際に、効果的な研修成果のための確かな情報提供を行うべきではないか。歴史、教育に特長をもつ個性あるまちづくりを目指しては。

町長 平成24年度に中学校を中心に30校、約3千人を超える研修生が訪れている。

受入態勢として観光コンベンション協会やボランティアアガイド協会等々の連携のほか、学芸員や各観光施設職員と情報を共有しながら対応している。今後も一層のサービスの充実と学習機会の提供を目指す教育観光の推進に努めたい。

再 研修担当の先生への情報提供、Q&Aのように学校で使える資料を提供してはどうか。

追分商工観光課長 Q&A等を制作する予定はない。学校によって研修目的が違うため、各学校のニーズに沿った取り組みをしていく。

再 画一的なQ&Aではなく、もっと学校で使って材料に出来る方策、方式で情報を提供したらどうか。

社会教育課長 求めに応じた研修内容の資料提供、現地説明等についてはこれまでも行っている。今後も同様の考え方でやっていきたい。

「第5次江差町総合計画について」

町長 検証・見直しを行っている

大門 和子 議員（無党派）

第5次総合計画の検証状況は。

再 体撤去を基本に検討している。

町長 予算・決算時に実施計画内容を整理、新たに政策評価調書の作成に取り組んだ。町を取り巻く情勢の変化や新たな課題に対応した検証や見直しを行うこととしている。

再 旧日明、旧朝日小学校は23、24年度に建物及び敷地の一部の利活用が図られている。

再 土地を利活用することで人や企業を呼び込めるのでは。解体すべき建物の整理は。

再 旧日明、旧朝日の学校が使用できないとの結論を出しているのか。

再 進捗状況、成果は年次計画であるのか。

再 旧日明、旧朝日の学校が使用できないとの結論を出しているのか。

政策推進課長

政策評

価調書で、目標に向かってどのような政策事業を掲げているのか等検証作業を行っている。

再 環境住宅課長 解体について認識している。今後も見極めながら随時進めていく。土地利用の計画はまだやっていないが、大きな課題として捉えている。

再 環境住宅課長 解体について認識している。今後も見極めながら随時進めていく。土地利用の計画はまだやっていないが、大きな課題として捉えている。

再 環境住宅課長 解体について認識している。今後も見極めながら随時進めていく。土地利用の計画はまだやっていないが、大きな課題として捉えている。

「土地利用について」

総合計画で低利用公共施設の廃止、解体撤去とあるが具体的な計画は。

再 政策推進課長 旧日明の校舎は山地災害危険区域に指定されている。今後、維持管理を続けるか、解体するかは財政問題も含め協議が必要。対策を検討していきたい。

再 旧日明、旧朝日小学校校舎及び土地の利活用は。

再 政策推進課長 旧日明の校舎は山地災害危険区域に指定されている。今後、維持管理を続けるか、解体するかは財政問題も含め協議が必要。対策を検討していきたい。

再 町長 低利用公共施設等は利用廃止等行い、解

再 町長 低利用公共施設等は利用廃止等行い、解

再 町長 低利用公共施設等は利用廃止等行い、解

再 町長 低利用公共施設等は利用廃止等行い、解

再 解体し更地で売るか、何かに使うか。土地が高いことも含めどう考えているか。

再 環境住宅課長 土地は売買するのが基本だが、全体的に土地、建物も含め検討している。

再 環境住宅課長 土地は売買するのが基本だが、全体的に土地、建物も含め検討している。

総務財政課長

土評価

再 総務財政課長 土評価は公会計でも出てくることから、路線価等あるので順次やっていきたい。

「建物に係る長寿命化計画について」

再 全ての建物の長寿命化対策、老朽化建物等の管理計画が個々にあるのか。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。

再 町長 施設の長寿命化に向け計画的に点検整備、補修工事等をすすめている。町営住宅は平成23年度に長寿命化計画を策定し計画的に補修工事等を行っている。



2013ひやまりサイクルコンクール入賞作品。管内の小学生を対象に身の回りの不要品を再利用した工作を通じ、地域のリサイクル活動及び環境行動の実践の推進を目指しています。

環境住宅課長

管理計

再 画は策定していない。逐次改修を行っている実態。状況把握しながら計画的な維持管理に努めた

再 取り組んでいる。リサイクルの推進は理解するが、ごみの分類が増えることになる。

再 画は策定していない。逐次改修を行っている実態。状況把握しながら計画的な維持管理に努めた

再 リサイクルを個々に啓蒙するのか。前向きな対応が必要ではないか。

再 建物を診断し計画を立て管理していくべきでは。

再 環境住宅課長 現在の取り組みを継続して行っていく。全戸回収は今後研究していきたい。

再 建物を診断し計画を立て管理していくべきでは。

再 環境住宅課長 現在の取り組みを継続して行っていく。全戸回収は今後研究していきたい。

再 建物を診断し計画を立て管理していくべきでは。

再 環境住宅課長 現在の取り組みを継続して行っていく。全戸回収は今後研究していきたい。

「ごみ処理の推進・リサイクルについて」

再 収集ボックス等ではなく委託して個々に回収する等計画性をもって進むべきと思うが。

再 他に「子ども・子育て新システムによる幼保一体化について」、「高規格幹線道路、道道の整備促進について」を質問しています。

再 収集ボックス等ではなく委託して個々に回収する等計画性をもって進むべきと思うが。

再 他に「子ども・子育て新システムによる幼保一体化について」、「高規格幹線道路、道道の整備促進について」を質問しています。

再 町長 ごみの減量化に

再 他に「子ども・子育て新システムによる幼保一体化について」、「高規格幹線道路、道道の整備促進について」を質問しています。

「社会保障等全面的見直し、制度改革について」
町長 町村会等で意見反映していきたい

小野寺 真 議員（日本共産党）

社会保障制度全般に渡る大幅な制度改革等について、自治体の国、道への要請・要望が見受けられない。町長の見解は。

町長 具体的な内容が国から伝わってこない状況。町村会等も含め意見反映していきたい。国の状況を具体性を持って町村に知らせるよう強く要望していきたい。

再 介護保険の要支援サービスは、町村はお金が無かつたらできない状況になる。

健康推進課長 財政負担は大きいと認識している。国の出方を見ながら考えていく。

「開陽丸青少年センター」
コトコト

長期的な見直しについて。財団との協議内容、



在宅型総合福祉施設まるやまで行われているディサービス
(江差中学校の吹奏楽鑑賞)

要請を受けているのか。

町長 当面大きな改修はないものと思っていますが、マストの錆びは気になっている。

補修等を含めた長期的な維持管理については重要な課題と認識している。

再 計画的な補修等を財団と協議しているのか。財団への補助金の根

拠は。

政策推進課長 財団の理事会や評議員会、事務局で協議することになる。

補助金は固定資産税や借入金、管理運営費含め不足分を出している。

再再 開陽丸のあり方、施設の問題、活性化等、町を中心に関わっていく必要があると思うが。

副町長 財団とは連絡を密にしなが、積極的に関与していきたい。

「南が丘地域の避難路」
コトコト

宅地と宅地の間にある空き地（避難路）は何か。管理及び町の認識は。

町長 宅地造成上の管理用地（公的空間）として位置付けられた土地で、土地開発公社が管理している。

管理は自治会の協力を得ながら行っているが、自治会も対応に苦慮している。今後、自治会とも協議し、各家庭の対応を進めていきたい。

「公会計システムの運用、ライフサイクルコスト（LCC）について」

公会計システムの現状は。

土地や建物の維持管理や解体廃棄も含めたLCCの町の考え方は。

町長 公会計システムは資産の洗い出しに時間を要している。出来る限り速やかに財務諸表を作成し公表していきたい。

町有施設のLCCは中長期的な観点からも重要と考えている。現状は修繕箇所の把握と改修に努めている。今後はコストを的確に把握し、施設管理に反映していきたい。

再 町の財産が今どうなっているのか急ぐ必要がある。時間がかかっている理由は何か。

総務財政課長 資産の洗い出し、価格に非常に時間がかかっている。時期は明確にできないが、早急に実施していきたい。

再再 公会計に係る職員研修や委託も含め急ぐ必要があるのでは。

総務財政課長 管内では委託で行っている町もあると聞いているが、現在、担当課と連携してやっている。研修はやっていきたい。

全員協議会

10月2日



ひのき荘での敬老会のようす。建物の老朽化が激しく事業等は手狭な食堂で行われている。

定住自立圏構想に係る取り組みについて

当面のスケジュール説明、定住自立圏形成協定について、共生ビジョンの策定及び内容について町から説明がありました。

議員からは、連携項目の確認等について質疑がありました。

◇不正経理事故の概要

- ・ 栄養士が窓口となって栄養士と調理員の個人的な食材を購入していた事実が判明。
- ・ 個人消費の購入代金は、全額が給食組合会計から支払いされていた。
- ・ 栄養士は調理員が支払った購入代金全額（7年間で約8百万円）を着服していた。
- ・ 今年8月に不要な物品が請求書に記載されていたことに事務職員が気付き不正経理が判明した。
- ・ 請求書等の精査をし、組合が不正に支払った金額は平成18～24年度までの7年間で27,835,763円となった。全額、栄養士が弁済している。
- ・ 給食業務の提供に支障がないよう協議してきたがその目途がついたため公表となった。

議会を傍聴してみませんか？

次は第4回定例会
12月中旬開会予定です

日程など詳しいお問合せは
議会事務局 ☎ 52-6713 まで

10月2日、18日と全員協議会が行われました。
その内容についてお知らせします。

養護老人ホームひのき荘について

町は、医療法人「雄心会」による民設民営化を検討しており、柳崎町の児童館を解体し、新施設を建設する予定（希望地）。地域の集会施設機能（地域交流センター）を有する複合施設としたい内容が説明されました。

議員からは、民間がやるべきことは応援すべきとの意見や、ひのき荘の職員の処遇、地域との関わり等について質疑が行われました。

町民還元用温泉スタンドの撤去について

繁次郎温泉裏手にある温泉スタンドは、利用者が少なく、また老朽化による漏水など施設整備が必要な状況になっていることから、11月で廃止。

利用者等の周知は11月号広報で行うことの説明がありました。

10月18日

給食組合の運営について

18日午前中に給食組合臨時議会で行政報告された「江差町ほか2町学校給食組合不正経理事故について」について、町議会へ説明がありました。

説明を受けて、議員からは、不正経理の流れや、職員の手続き方法の確認等について質疑が行われました。



10月18日の全員協議会

議会の動き

7月24日

◆給食組合議会定例会

7月26日

◆議会運営委員会（出席6名）

・第5回臨時会の運営について

◆第5回臨時会（出席11名、欠席1名）

◆全員協議会（出席11名、欠席1名）

・道立江差病院の分娩再開について

◆決算審査特別委員会（出席10名）

・決算審査日程、資料要求等について

8月2日

◆社会文教常任委員会（出席6名）

・学校整備に関する事務調査（小学校視察）

8月26日

◆檜山議長会

◆渡島檜山町村議会議長連絡会議

8月29日

◆議会運営委員会（出席4名、欠席1名）

・第3回定例会の運営について

◆決算審査特別委員会（出席9名、欠席1名）

・追加要求資料、現地視察について

◆総務産業常任委員会（出席4名、欠席1名）

・今後の取り進めについて

9月2日

◆議会運営委員会（出席5名）

・第3回定例会の運営について

9月10日～12日

◆第3回定例会（出席12名）

◆決算審査特別委員会（出席10名）

9月19日

◆社会文教常任委員会（出席6名）

・学校整備に関する事務調査（中学校視察）

9月30日

◆檜山議長会（臨時）

10月2日

◆全員協議会（出席11名、欠席1名）

・養護老人ホームひのき荘について

◆社会文教常任委員会（出席6名）

・地域医療の充実・確保に関する事務調査

10月3日

◆檜山広域行政組合定例議会

10月16日

◆広報特別委員会（出席5名）

・11月号広報について

10月18日

◆給食組合全員協議会・第1回臨時議会

◆全員協議会（出席12名）

・給食組合の運営について

10月22日

◆広報特別委員会（出席5名）

・11月広報について

10月23日

◆社会文教常任委員会（出席6名）

・地域医療の充実・確保に関する事務調査（江差保健所）

9月21日 第51回江差追分全国大会 議員会協賛事業

法華寺通り商店街まつりが開催されました！



江差町議会議員会（会長：小笠原淳夫議員、議員12名で構成）は、江差追分全国大会期間中の21日（土）に行われた「追分広場 歓迎！江差追分 法華寺通り商店街まつり」に協賛しました。

この「法華寺通り商店街まつり」は全国大会に訪れた観光客の皆さんを歓迎し交流してもらうことを目的に、民謡ステージ、郷土食（イモの塩煮や三平汁）の格安提供、焼き鳥、焼きホタテ等の販売が行われました。

また、商店街で買い物するごとに福引券を配布。空くじなしの福引抽選会が開催され、江差追分ポロシャツ、赤飯やカステラ、生花店からはアレンジメントされたきれいな花などの景品が提供されました。

舞台では、第41回江差追分全国大会優勝者の寺島絵里佳さんの民謡ステージのほか、自慢の唄を聴かせてください…と飛び入り参加の民謡ステージも行われ、会場は熱気に包まれました。



盛況だった福引抽選会

